
人工染色体技術を用いたヒト化モデル動物の医薬品開発への利用

講演会

鳥取大学・ディ・スリー研究所共催・後援(株)クロモセンター

日 時：2009年11月18日(水) 午後1:00～午後5:00

会 場：東工大キャンパスイノベーションセンター(田町) 国際会議室

<http://www.isl.or.jp/campusinnovation.html>

● 〒7108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

TEL03-5440-9020 FAX03-5440-9123

定員：100名

申込先：〒305-0036 茨城県つくば市西郷 25-4 TEL0298-52-3949/FAX 0298-52-3954

ディ・スリー研究所 堀江 透、☎：horie@de3.co.jp, URL::<http://www.de3.co.jp>

◆ プログラム ◆

13:00～13:30 人工染色体技術の概要と将来展望
押村 光雄 先生 鳥取大学大学院医学系研究科 教授

13:30～14:00 **CYP3A-HAC** マウスの作製と特徴
香月 康宏 先生 鳥取大学大学院医学系研究科 助教

14:00～14:30 **CYP3A-HAC** マウスの薬物代謝特性と医薬品開発への利用の提言
千葉 寛 先生 千葉大学大学院薬学院 教授
.....<休憩 15分>.....

14:45～15:15 高感度タンパクの絶対定量法による創薬研究の新基盤
—**CYP3A-HAC** マウス研究への応用—
寺崎 哲也 先生 東北大学大学院薬学系研究科 教授
ディスティングイッシュトプロフェッサー

15:15～15:45 小腸代謝の種差とヒト小腸代謝の予測系の確立
久世 治朗 先生 大鵬薬品工業(株) 飯能研究センター

15:45～16:15 「人工染色体技術を用いた医薬品開発」コンソーシアム設立趣旨
堀江 透 先生 ディ・スリー研究所 代表取締役所長

16:15～17:00 総合討論 (45分)